

県民提案型協働創出事業 成果報告書

実施団体名	能代山本がん予防推進協議会		
取組事業名	能代山本がん予防推進プロジェクト		
採 択 年 度	令和4年度	補助金額 (3年間)	3,300,000 円
事 業 概 要			
1 地域課題と事業目的 ・秋田県及び県内の市町村においては、がん検診の受診促進やがん予防に向けた取組などの実施により、75歳未満年齢調整死亡率が減少するなど一定の効果は見られる一方で、がん検診受診率は伸び悩み、粗死亡率の増加に歯止めがかからない現状にある。 ・能代山本地域は他地域に比べ粗死亡率が高いことから、この地域の特性に応じた取組が必要となっている。 ・このため能代山本地域における企業、行政、医療関係者、地域団体及び住民との協働によるがん予防に向けた活動を展開し、地域住民の健康寿命の延伸及び健康なまちづくりに寄与する。			
2 事業内容（課題解決の方法） ・企業が持つノウハウやネットワークを活用し、地域の市町や関係団体（検診機関、医療機関）との連携により、がん予防や住民の健康意識向上に向けた次の取組を実施。 ① データ活用等による地域の健康課題の調査・分析 ・検診データの分析による地域の健康課題の見える化 ・地域住民へのがん、健康意識に関するアンケート調査の実施 ② 普及啓発活動の展開 ・地域の健康課題を踏まえたがん検診受診促進のための効果的な啓発資材の配布 ・がん予防に向けた啓発イベントの開催 ・メディアを活用した健康リテラシー向上に向けたテレビ番組の制作放送 ③ 受診しやすい環境づくり ・地域連携による検診体制の構築			
3 実施スケジュール 1年目：各種がんデータの分析・地域住民を対象としたニーズ調査及び事業計画の策定 能代山本がん予防推進協議会主催のシンポジウムを開催（別紙①参照） 2年目：データ・ニーズ調査の分析結果に基づく啓発 農業従事者に対するアンケートの実施 「能代山本健康アクション」「シンポジウム」を開催（別紙②参照） 3年目：国民健康保険被保険者を対象とした能代山本地域のがん検診の現状調査・分析 タバコ対策によるがん予防、がん検診による早期発見・早期治療等につなげる行動変容 「能代山本がん予防推進フォーラム」の開催と分析結果の公表 令和7年1月26日放送「能代山本地域発 健康づくりの輪」の放送（別紙③参照）			
4 この事業で得られた成果・効果 1）がん検診受診率向上に向けた課題の抽出（農業従事者対象の分析から） 定期的に通院している人が多いため、かかりつけ医からの声かけが受診率向上につながる可能性がある。			

2) がん検診受診の方法見直しの検討案

検診の受診日を増やし、1日で完了できるようスケジュールを調整。土日受診の検討も必要。
申し込み方法をシンプルにし、分かりやすく工夫。予約のオンライン化も検討し、待ち時間短縮や履歴管理を可能にする。(別紙④参照)

一般健診・特定健診・がん検診セット予約を推奨し予約枠を確保。医療機関との調整が必要。

3) 能代山本地域のがん検診の現状(国民健康保険被保険者の調査結果から)

胃がん・大腸がん・肺がんのがん検診を受ける人は、多くがリピーターの可能性が高い。

がん検診を受ける人は健診も受診している。

がん予防に対する関心度の高い人だけではなく、初めて検診を受ける人をどう増やすか、そのための施策を充実させる必要性がある。(別紙④参照)

5 主な役割分担と協働

調査分析・・・秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻臨床看護学講座 助教 高階淳子 氏
秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授 野村恭子 氏
秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 助教 岩倉正浩 氏
まるレディースクリニック 院長 井岡亜希子 氏
(株)データホライゾン
(株)ブリッジ

周知広報・・・秋田朝日放送(株)

総合調整・・・秋田県健康づくり推進課

協力自治体・・・能代市 藤里町 三種町 八峰町

協力団体・・・(公財)秋田県総合保健事業団

6 この事業の今後の課題・展開等

引き続き、企業、行政、医療関係者、地域団体及び住民との協働によるがん予防に向けた活動を展開し、住民の健康寿命の延伸及び健康なまちづくりに寄与することを目的とする。

本事業に対する理解者を拡充した上で持続可能な事業としての基盤強化を図り、民間の知恵や手法を活用し、課題解決に向けた意識共有を深めたい。

がんを地域全体の課題として受け止め、当事者としての予防意識の醸成を図り、多様な発信を実施していく。

能代山本地域の成果を確実なものにし、県内他地域での展開も視野に入れていく。

■担当課室のコメント(健康づくり推進課)

○データ分析により見えてきた課題は、能代山本地域のみならず、県内保険者が共通で抱えている課題であり、今回の結果は他地域でも参考として今後の保健活動に活用できるものと考えます。

○プロジェクトでの取り組みとして、複数の保険者の合同がん検診を実施したが、これは今後の健(検)診体制の取り組み方の可能性を探る方法として有益なものであった。

○今回のプロジェクトにより、行政のみならず、企業や報道関係等の様々な関係者と地域課題を共有し、それぞれの得意分野も活かしながら、取り組みを進めてきたことは、今後の地域の健康課題解決のための行動をより上げていく契機になると考える。

別紙①

能代山本地域 「誰もが健康で暮らせる地域づくり」シンポジウム

市民健康推進協議会 能代山本地域

「誰もが健康で暮らせる地域づくり」シンポジウム

開催日時 令和5年 2月11日(土・祝) 14:00~16:00

会場 能代山本広域交流センター 多目的ホール
(能代市宇海路3-2)

基調講演 秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻 安藤秀明 教授

講師：「この地域で幸に暮らすために」

パネルディスカッション
テーマ：「地域で取り組む健康づくり」

主催 能代山本がん予防推進協議会 秋田県 能代市 藤里町 三種町 八峰町

共催 秋田県 後援 能代市 藤里町 三種町 八峰町

こちらのQRコードを読み取って申し込みください(先着200名様)

お問い合わせ
秋田県健康づくり推進課 018-888-1543 平日 9:30~17:30
秋田県健康づくり推進課 018-880-1428 平日 8:30~17:15

基調講演



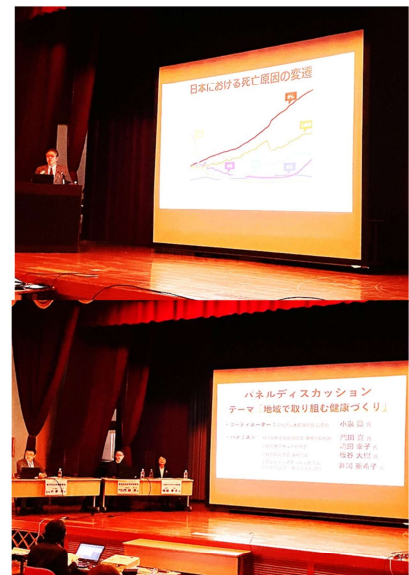
秋田大学大学院医学系研究科
保健学専攻 安藤秀明 教授

パネルディスカッション

コーディネーター
能代市山本郡医師会 副会長 小泉亮氏

パネリスト
藤里町社会福祉協議会 門田 真 氏
三種町クアール研究会 嶋田 幸子 氏
八峰町観光協会 板谷 大樹 氏
まるレディースクリニック 院長 井岡亜希子 氏

<来場者数> 60人



別紙②

「能代山本健康アクション」

「がん」の予防と対策について

能代山本健康アクション

日時 2024年11月18日(土)10:00~16:00

会場 イオンタウン能代(風の広場)

体験スペース(※)

- 1 大腸トンネル探検隊
大腸を模したトンネルを通しての検便づくり、検便の検出と検便の検出方法
- 2 大腸がんクイズラリー
大腸がんの予防や検便に関するクイズを解いて、検便の検出と検便の検出方法
- 3 オーラルプレイル(歯)の健康相談
歯科医師による歯の健康相談コーナーを設置します。
- 4 野菜摂取量測定(ベジチェック)
センサーに手をのせて測定。検便の検出と検便の検出方法
- 5 各種健康機器による健康チェック
血圧、血糖値、体温、検便の検出と検便の検出方法
- 6 肌荒れ防止などのハンドトリートメント

展示スペース(※)

- 1 健康検体バッグ、検便キット体験
- 2 乳がん検診モデル
- 3 大腸がん検診モデル

主催 能代山本がん予防推進協議会(秋田県健康推進協議会、秋田大学、秋田県、能代市、藤里町、三種町、八峰町、能代市山本郡医師会)

共催 秋田県、秋田県健康推進協議会、秋田県健康推進協議会、秋田県健康推進協議会、秋田県健康推進協議会



<来場者数> 335人
<がん検診受診者>
藤里町・三種町・八峰町 受診者14人 / 受診件数 16件

能代山本地域 「誰もが健康で暮らせる地域づくり」シンポジウム

市民健康推進協議会 能代山本地域

「誰もが健康で暮らせる地域づくり」シンポジウム

開催日時 2024年 3月20日(水・祝) 13:30~15:00

会場 能代厚生医療センター2階 講堂 (能代市常盤寺上(能代市内))

講演 「秋田県の産業従事者におけるがん検診受診の現状と課題」
～アンケート結果から見た地域の健康状況について～
講師：秋田県産業従事者健康推進委員会 高階 淳子 先生

「がんにならない生活習慣とは」
講師：能代厚生医療センター 副院長 松崎 都夫 先生

健康漫談 「私が実践する健康づくり」
漫談者：辻田 与五郎 氏

QRコードから申し込みはこちら

お電話での申し込みはこちら

秋田県健康づくり推進課 018-888-1543 平日 9:30~17:30
秋田県健康づくり推進課 018-880-1428 平日 8:30~17:15

主催 能代山本がん予防推進協議会(秋田県健康推進協議会、秋田県健康推進協議会、秋田県健康推進協議会、秋田県健康推進協議会)

共催 秋田県、秋田県健康推進協議会、秋田県健康推進協議会、秋田県健康推進協議会、秋田県健康推進協議会



<来場者数> 30人

別紙③

能代山本
がん予防推進フォーラム

市民提案型企画事業：能代山本
がん予防推進フォーラム

日時：2024年11月17日(日)14:00～16:30
会場：能代山本広域交流センター（能代市学芸館3-2）
入場無料

主催：能代山本がん予防推進協議会 共催：秋田県 後援：能代市・鷹巣町・三好町・八幡町・北谷町・北谷町
協賛：能代市立総合医療センター 協賛：能代市立総合医療センター 協賛：能代市立総合医療センター

講演

- 能代山本地区のがん検診の現状
広げよう検診と健診の輪 岩倉 正浩 助産
- 住民のそばでがん予防
～まちの保健師の目指すアプローチ～ 石田 都 保健師
- がんの予防はなぜ大事？
タバコとがん検診の問題から
健康づくりを考えよう 井岡 要希子 医師
- タバコ、アルコールだけじゃない。
秋田県民が気を付けるべきこと 佐藤 雄亮 医師
- 個人の行動変容と健康状態の改善 藤 松伊 助産

**誰もが健康で
喜らせる地域づくり
～個人・地域でできること～**

野村 恭子 教授 井岡 要希子 医師
小泉 亮 副会長 石田 都 保健師

この日のQRコードをスマートフォンで
読み込んで参加申し込みを完了していただ
くようお願いいたします。
お申し込みページからお申し込みし、入
場券を印刷してください。

お問い合わせ
秋田県健康づくり推進課
TEL:018-860-1428 平日 8:30～17:15



<来場者数> 60人

能代山本地域発「健康づくりの輪」令和7年1月26日(日)16:55～17:25放送

能代山本地域発
健康づくりの輪
～個人と地域ができること～

能代山本 がん予防推進フォーラム
パネルディスカッション

60歳以上で自分の歯が24本以上の人の割合

74% 38%
秋田は約1/2

40歳以上は筋力トレーニングをやらなければならない

がん検診
1次検診受診者の多くがリピーター
地域ぐるみの声かけで
新規受診者を増やしていく

家族・友人・知人に声をかけ
健診と検診の輪が広がっていく状況が望ましい

ひとりひとりが
地域全体の健康を変えるパワーを持っている

野村 恭子 教授

別紙④

「能代山本地区農業従事者における がん検診受診の現状と課題」 (要約)



秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻
高階淳子 助教

がん検診受診率の現状

能代山本地区の農業従事者のがん検診受診率が目標値 60%を上回り、全国と比べても健康的な生活傾向が見られた。しかし、回答者の偏りや無回答の多さにより、結果が地域全体の実態を正確に反映しているとは限らない。

がん検診受診率向上に向けた課題

- 1) がん検診の理解促進
定期的に通院している人が多いため、かかりつけ医からの声かけが受診率向上につながる可能性がある。
- 2) がん検診受診の方法見直し
検診の受診日を増やし、1日で完了できるようスケジュールを調整。土日受診の検討も必要。

申し込み方法をシンプルにし、分かりやすく工夫。予約のオンライン化も検討し、待ち時間短縮や履歴管理を可能にする。

一般健診・特定健診・がん検診のセット予約を推奨し、予約枠を確保。医療機関との調整が必要。

能代山本地区のがん検診の現状 広げよう検診と健診の輪 (要約)

能代山本地区
健康づくりの輪
～個人と地域ができること～

胃がんの1次検診 (2019年度: 受診率 14.6%)

項目	全体 (10,631名)	受けた人 (1,551名)	受けなかった人 (9,080名)
年齢: 歳	65.5 ± 5.8	65.9 ± 5.4	65.5 ± 5.9
性別: 名 (%)			
男性	4,898名 (46.1%)	726名 (46.8%)	4,172名 (45.9%)
女性	5,733名 (53.9%)	825名 (53.2%)	4,908名 (54.1%)
町域: 名 (%)			
能代市	6,779名 (63.8%)	577名 (37.2%)	6,202名 (68.3%)
藤里町	490名 (4.6%)	160名 (10.3%)	330名 (3.6%)
三種町	2,281名 (21.5%)	460名 (29.7%)	1,821名 (20.1%)
八峰町	1,081名 (10.2%)	354名 (22.8%)	727名 (8.0%)
17・18年度の健診受診 「あり」: 名 (%)	4,295名 (40.4%)	1,379名 (88.9%)	2,916名 (32.1%)
18年度のがん検診受診 「あり」: 名 (%)	1,815名 (17.1%)	1,192名 (76.9%)	623名 (6.9%)

※検診データは能代山本地区がん予防推進協議会より提供を受けた。検診対象は2017年度から2020年度にかけて国民健康保険被保険者であり、かつ2018年度末時点の年齢が65歳以上74歳以下の人とした。
また、2017年度末又は2018年度に胃がんの医療費の発生がある人は集計から除外した。

秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座
岩倉 正浩 助教

能代山本地区のがん検診の現状 広げよう検診と健診の輪（要約）

能代山本地区
健康づくりの輪
一人ひとりが健康で暮らすこと

胃がんの1次検診（2019年度：受診率 14.6%）

項目	全体 (10,631名)	受けた人 (1,551名)	受けなかった人 (9,080名)
17・18年度の健診受診 「あり」：名(%)	4,295名 (40.4%)	1,379名 (88.9%)	2,916名 (32.1%)
18年度の胃がん検診受診 「あり」：名(%)	1,815名 (17.1%)	1,192名 (76.9%)	623名 (6.9%)

検診受診者の多くが翌年度も検診を受けている
初めてがん検診を受けようと行動する人が少ないのではないか



肺がん・大腸がんでも同様の傾向

秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座
岩倉 正浩 助教

能代山本地区のがん検診の現状 広げよう検診と健診の輪（要約）

- がん検診を受ける人は
多くがリピーター
- がん検診を受ける人は
健診も受診している
- 初めて検診を受ける人を
どう増やすか？

秋田大学大学院医学系研究科 衛生学・公衆衛生学講座
岩倉 正浩 助教

現代の生活習慣病
健康づくりの輪
一人ひとりができること

タバコを吸っている本人はこんな病気になりやすくなる

根拠十分！レベル1「科学的証拠は因果関係を推定するのに十分である」と判定された疾患

○がん

鼻腔・副鼻腔がん	口腔・咽頭がん	喉頭がん	食道がん	肺がん
肝臓がん	胃がん	胆膵がん	膀胱がん	子宮頸がん

○その他の疾患

脳卒中	ニコチン依存症	歯周病	慢性閉塞性肺疾患	呼吸機能低下
結核（死亡）	虚血性心疾患	腹部大動脈瘤	末梢性の動脈硬化	2型糖尿病の発症

○妊娠・出産

早産	低出生体重・胎児発育遅延
----	--------------

出典：喫煙と健康 厚生労働省 喫煙の健康影響に関する検討会報告書（平成28年8月）の概要を知りたい人のために
井岡亜希子先生の講演資料を基に加工作成

現代の生活習慣病
健康づくりの輪
一人ひとりができること

飲食店・事業所など

原則屋内禁煙

喫煙を認める場合は
喫煙専用室（飲食不可）の設置が必要

飲食店のうち

令和2年4月1日時点で営業している
小規模飲食店

※資本金5千万以下かつ従業員数100名未満以下
屋内の一部または全部を
禁煙か喫煙可能か選択できます。

従業員がいる
場合は令和7年
3月までの待機

喫煙を認める
場合は喫煙室への
区画が必要

秋田県健康福祉部健康づくり推進課
「受動喫煙ゼロで空気がきれいな秋田県」から抜粋

がん予防はなぜ大事？
タバコとがん検診の問題から健康づくりを考えよう！（要約）

まるレディースクリニック 井岡亜希子 院長

完全屋内禁煙はできないものか？

以上